

各教科等の指導事例の活用にあたって

育てる思考力・判断力・表現力等を明確にした各教科等の指導

1 各教科等の指導事例の見方

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校における各教科等の指導事例を作成しています。ここでは、研修等において効果的に活用できるよう指導事例の見方について説明します。

**小学校 国語科の事例**

設定した言語活動を通して育てたい力

- 場面や場面の変化に注意しながら、登場人物の心情や態度について、叙述を基に想像して読むことができ、目的に応じて、いろいろな本を選んで読むことができる。

思考力、判断力、表現力の育成

**指導のポイント**

指導事項を明確にし、単元を貫く言語活動を設定する。

例えば、単元では、「場面や場面の変化に注意しながら、登場人物の心情や態度について、叙述を基に想像して読むこと」や「目的に応じて、本を選んで読むこと」を指導するために、単元を貫く言語活動として「文章におおむねの本を選定すること」を設定しています。このことにより、場を越えてよーの目的意識が育ち、読書の楽しみが広がります。

**新学習指導要領におけるポイント**

言語活動の充実に関して新学習指導要領で求められている取組のうち、指導事例と関連の深いものについて記載しています。

**本時で設定した言語活動**  
言語活動の充実を図ることは、各教科等の目標を実現するための有効な手立てです。掲載している学習指導案において、言語活動の充実を図っている特徴的な部分を太線で囲んでいます。

**指導のポイント**  
本時で設定した言語活動（ ）においてどのような工夫をしているのか、指導のポイントを示しています。各学校での実践に役立つように、話し方や聞き方、考え方などの技能に関する指導の工夫、教材・教具の工夫、学習形態の工夫などについて具体的に記載しています。

**新学習指導要領におけるポイント**  
言語活動の充実に関して新学習指導要領で求められている取組のうち、指導事例と関連の深いものについて記載しています。

2 指導事例を活用した研修の充実

各教科等の指導事例は、研修等で使いやすいように1枚にまとめています。平成22年度中に、言語活動の充実の趣旨や具体的な指導の在り方について、学校全体で共通理解しておきましょう。

- 年間指導計画または単元の指導計画に言語活動を位置付けるなど、各教科等の計画や授業の構成、進め方などを改善しましょう。
- 各教科等で育成すべき思考力・判断力・表現力等を明確にし、教科等の目標の実現に向けた言語活動を工夫しましょう。
- 複数の教科等の事例も参考にし、これまで行ってきた言語活動の実践を見直しましょう。

**設定した言語活動を通して育てたい力**

本時の授業で設定した言語活動を通して、児童生徒に育てたい力を示しています。どのような力を育てようとするのか、指導者が目的を明確にすることが言語活動の充実の第一歩です。

また、その育てようとする力が、思考力・判断力・表現力等のうちのどの力の育成につながるのかを矢印の右側に表しています。